

毎月10日に金毘羅さんでは縁日が開かれている。かつては、蝦蟇の油の実演販売などもあった。今も少しだけ屋台が並ぶ。元は丸亀藩の江戸屋敷に祀られていた。

金毘羅さんの縁日に合わせて、かつては榎木市が行われていた



MORIART MUSEUM

お稲荷さん。昔は街中のいたるところにあった

森ビル1棟目のプロジェクト

たくさんの果実がなるレトロビル

昔は八百屋だった

この辺りは江戸時代には武家屋敷が立ち並んでいた

ジャンボプリン

現在でも芝家具製造に関わっていた方が街で暮らしている。今では、「ものづくりの街」を感じさせるものは少ないがそれでも街のこここに芝家具の街の痕跡を読み取ることもできる

昔ながらの建物の中で今でも中華種が製造されている

地域の小学校には「サクラ」の呼称が多い。ここはかつて佐倉田と呼ばれていたという誤りもある。グラウンドは地域に解放されており、授業中だけ運動場として利用されていた

今では、近所のオフィスで働く人の憩いの場。時間によっては保育園の子どもや、犬の散歩仲間の集いも

街一番にかっこいい表札

昔の面影を残す路地を彩るたくさんの多肉植物たち

お屋は美味しいカレーが楽しめ、地域の人を持ち寄ったライブラバーが何時間でも楽しめる新虎小屋

ミューラルアートによる巨大な壁画が描かれたビル。ストリートアートが街を彩りつつある

夜はタクシ一の休憩スポット

かつては小さな商店が立ち並んでいたちよっとした商店街のようだった

幕末に外国の使節団が滞在し洋家具が用いられたと考えられる

真福寺はお薬師さんと地域から呼ばれている。昔は境内が子どもの遊び場だった

東京都区内最高峰の愛宕山は江戸を一望できるスポットとして江戸期から明治にかけて観光名所として賑わいを見せた

かつて、愛宕山にそって、桜川という川が流れていた。虎ノ門ヒルズの配置にも影響したという

愛宕下には映画館「愛宕キネマ」が存在していた

小さなお稲荷さんがあって、昔の石影が非常に可愛い

この辺りにはたくさん家具関係の工場があった。住み込みで働く従業員も多かったという

新虎通りができるまではここがメインストリートだった。お薬師さんの参道にもなっていることから薬師通りと呼ばれていた

浅野内匠頭の碑がある。実際に切腹した場所は少し違う

昔は今より家族の人数も多く、近所づきあひも密だった。みんな木造の2階建に住んでおり、全員顔見知り。大きな家族みだいたった。通りを挟んだ町内の関係が強かった。

港区の郷土資料館にたくさんの図面が収蔵されている後久洋家具店がかつてあった場所

かつて赤レンガ造の百貨店がこの通り沿いにあり、そこから名がつけられた。明治から昭和にかけて、この通り沿いに洋家具店が軒を連ねた

まちと美術館のプログラム

アートが街を表現する一循環する commons たちの都市ー

第1弾：THE FURNITURE

公開プログラム 作品展示

開催日：2018 August 30[Thu], 31[Fri], September 1[Sat], 6[Thu], 7[Fri], 8[Sat]
* Thursday and Friday: 12:00 to 20:00, Saturday 12:00 to 18:00

主催：森美術館、森ビル株式会社
企画協力：川勝真一(建築リサーチャー、RAD)

虎ノ門・西新橋エリアで生産が盛んだった「芝家具」をテーマに、街とアートの新たなかわり方を提示します

会場

- A：中村裕太 [アーカイブルーム]
- B：ホンマタカシ
- C：碓井ゆい
- D：白木麻子